

令和3年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
一中地区地域のふれあいを広める会【H23.12.1設置】	地区住民各部長 青色防犯パトロール隊 青少年相談員 少年指導員 児童委員 子育て・高齢者サロン代表者 (16人)	★	継続事業 (毎月第1, 第3月曜日開催)	高齢者サロン「楽々亭」の運営	1 健康体操 2 レクリエーション(お手玉カーリング, ピンポン等) 3 季節の歌・なつかしの歌 合唱 4 食事会 コロナ禍のため, 13回の実施にとどまった。 食事提供数 407食 1回平均 20人の参加	2つのテーマの進行管理に努めた。 「高齢者等の居場所づくり」, 「青少年非行防止・防犯ネットワークの構築」		令和3年度の事業を継続
		★	継続事業 (毎週土曜日実施)	青少年非行防止, 防犯ネットワークの構築	1 不審者情報のFAXによる一斉送信(送付先:各自治会長等) 令和3年度は, 送信実績なし 2 毎週土曜日の夕方, 一中地区防犯パトロール隊(隊員157人)が, 巡回パトロールを実施。 令和3年度実施回数 33回, 延べ参加人数 66人			
		★	継続事業 (毎月第1, 第3水曜日開催)	高齢者対象のヒップホップダンスの実施	令和2年度まで1中コミセンの主催事業であったが, 令和3年度から自主事業として実施。毎月2回実施			
二中学区地域の輪をつくる会【H24.4.21設置】	コミ組織理事 コミ役員各部長 各自治会長など(27人) ※津田コミセン検討委員会は, コミ役員津田5自治会員(10人)	1	令和3年8月18日	市毛幼稚園跡地利活用について	コロナ感染拡大防止のために延期	市毛幼稚園跡地については, 利活用しないという結論に達した。	課題や取り組む事案については, コロナ感染拡大を慎重に鑑みながら問題を抽出していく	
		2	令和3年11月4日	市毛幼稚園跡地利活用について(最終決定)	市毛幼稚園の耐震が基準を満たしていないこともあり, 維持管理を含めた利用は難しく, 利活用は断念する結論でまとまった。 ただし学区の建屋としてその存在を地域で見守り, 次世代に委ねることを委員会で確認しあった。			
前渡を明るく住みよくなる会【H24.4.21設置】	自治会長各部長 事務局長(17人)			新型コロナ感染症防止のため中止		高齢者世帯の自治会脱会を防ぐ方法の検討や, 講演会などを実施する予定であったが, 新型コロナ感染症防止のため, 中止した。		年度当初に検討テーマを設定し, それを遂行する。
佐野の和を推進する会【H25.4.15設置】	自治会長 コミ役員 部会推薦(18人)	1	令和3年6月10日	「読みやすい広報紙の役割について」市の出前講座研修	自治会長改選により, 新たな運営委員2名の委嘱を行った。今年度の協議テーマを委員に募ったが, 特になかったため, その後市の広報広聴課の「読みやすい広報紙の役割について」出前講座を実施した。市民が主役の広報紙を何をどう伝えるのか, さまざまな工夫と苦勞をしていることを学んだ。佐野の和広報紙「さの」や自治会広報紙の紙面づくりに大いに参考になった。	今年度は, コロナ禍での状況の中で, 「読みやすい広報紙の役割について」市の出前講座より研修を実施。また, 「佐和駅東西自由通路及び新駅舎の整備について」市都市計画課の説明を受けた。令和2年4月から稼働した水戸市の清掃工場の視察研修を予定していたが, 茨城県のまん延防止等重点措置により中止。代替えにより研修視察を実施。 また, 超高齢社会がすすむ日本にとって最重要課題となっている一つの「認知症」について, まずは誰もが正しく理解し, 認知症の人や家族を支援する手立てを研修し, 今後「尊厳ある暮らし」を地域や家族で守っていきたい。	委員からの課題の提案については, 自治会関心の温度差があり, 佐野地区全体もしくはひたちなか市として取り組む課題かどうか難しい。	委員から新しい課題を提案してもらい, その課題解決に向けて話し合いをしていく。また, 昨年から「認知症」についても引き続き話し合いをしていく。
		2	令和3年10月19日	「佐和駅東西自由通路及び新駅舎の整備について」市都市計画課の説明	「佐和駅東西自由通路及び新駅舎の整備について」市都市計画課の説明を受けた。令和5年春の供用開始に向けて, 東口及び西口の整備計画及び進捗状況について, パワーポイントでの説明により, 全体像が把握できた。JR東日本, ひたちなか市, 国の予算が投入される新駅舎が, 地域住民や駅利用者のアンケート結果が反映されると共に, 駅舎に通じる道路・交通環境を含めた利用上の現在の課題の解決に向けた市当局の努力や考え方について理解することができた。その後, コロナ禍での自治会活動の現状と課題について, 各委員から報告してもらい, 情報を共有した。			
		3	令和4年2月16日～17日	道の駅佐原「防災教育館」と「小江戸佐原の町並み」の視察研修	最新の「水戸市清掃工場えこみっと」を視察研修する予定だったが, 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。その代替えとして, 道の駅佐原の「防災教育館」を視察し, 過去の利根川の水害を教訓として, いざというときにあわてず安全な暮らしをおくるためのヒントを学んだ。その後, NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会の地元ボランティアの案内で, 古い町並みの保存と再生の活動を研修した。			
		4	令和4年3月10日	「認知症を学び地域で支えよう」の研修	いまや老後の最大の不安となり, 超高齢社会が進む日本にとって最重要課題となっている一つの「認知症」について, 北部おとしより相談センターの天津地域支援推進員から研修した。認知症について正しい知識を持ち, 地域や家庭で支える認知症サポーターのできることを学んだ。また, 誰でも起こりうる脳の病気で, いつ自分や家族が, あるいは友人や知人が認知症になるかわからない中で, 認知症の人への対応の心得として, 3つのない(驚かせない, 急がせない, 自尊心を傷つけない)を支援していくことが重要だと感じた。			

令和3年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
大島コミセン地区地域づくりの会 【H25.4.20設置】	コミ役員 自治連大島支部理事 保健推進委員 高齢者クラブ 民生委員 青少年相談員 小中学校PTA役員 婦人学級 (20人) ※今回の「テーマ」・「取り組み」は、社会福祉協議会の支えあい事業(地域福祉推進体制整備事業)との関連が深いことから、地域福祉課と社会福祉協議会の職員の方にも加わっていただいている。	1	令和3年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> 前年度までの活動内容の確認 社会福祉協議会の支えあい事業の取り組みについて 	<ul style="list-style-type: none"> 委嘱状交付、顔合わせ(自己紹介) これまで(平成25年～)の市民会議の活動経過について確認する。特に、前回の取り組み「自治会活動に関するアンケート(自治会関連問題)」「生活上の困りごと・悩みごと等」についてのアンケート(高齢者対策問題)の結果について共通理解を図り、今後の活動に生かすことを確認する。 高齢者対策問題の関連で、社会福祉協議会の支えあい事業(地域福祉推進体制整備事業)の取り組みについて社協職員より説明を受ける。 	令和元年度から2年間、自治会関連問題と高齢者対策問題という2つの課題(テーマ)について協議・検討しながら取り組んできた。最終的には、自治会の協力のもとアンケートによる実態調査を行い、本地区の課題を確認することができた。そこで、今年度より、その調査結果を踏まえた実践的な活動に繋げるため、市民会議で取り組みそうなテーマを設定し、できれば助け合いのしくみづくりに取り組みたいと考えている。	前回は実践的な活動を育てるための実態調査(「自治会関連問題」、「高齢者対策問題」)を行っており、その分析結果などを踏まえて、今回のテーマの設定にあたっては、現時点では、ゴミ出し支援のしくみづくりを進めることにしている。委員からは、どうしても自治会の協力を得ないと進められないので、モデル地区に限定して行い、成功例を紹介するような活動が望ましいとの意見が多い。自治会の地域性や年齢構成、会員数など諸々のことを考えると、それだけ全体で行うことの難しさを感じている。市民会議で扱う際の理想と現実の溝をどううめるか、やるたびに突きつけられる問題である。	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出し支援のしくみづくりを項だてて協議・検討していく。最終的には、モデル地区が対象団体を決めて、実践的な活動に繋げるための素地づくりをしたい。 10月に行政バスを利用して、先進地視察も計画したいと考えている。
		2	令和3年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり市民会議について 	<ul style="list-style-type: none"> 各委員が市民会議についての理解を深めるため、市民活動課職員より「まちづくり市民会議について」の説明を受ける。 1 自立と協働のまちづくり基本条例 2 なぜ条例が必要なのか 3 まちづくり市民会議 前年度のアンケート結果(「自治会関連問題」と「高齢者対策問題」)をもとに課題(テーマ)の方向性を探る。 			
		3	令和3年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> 市民会議で取り組みたいものについて 	<ul style="list-style-type: none"> グループで、前年度のアンケート結果等を参考にしながら、市民会議で取り上げ、大島地区の地域づくりの一環として進められそうなものを話し合う。 全体協議において、各グループから出された課題について検討し、今後の取り組み候補を絞り込む。 次回より「ゴミ出し支援」助け合いのしくみづくりを行うことを確認する。 			
		4	令和3年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出し支援の課題について(当事者目線で考える) 今後の進め方について(見通しを立てる) 	ゴミ出し支援のあり方について次の視点で考える。 <グループ協議> ①ゴミ出しのどんなことで困っているのか。(共通認識を図る) ②ゴミ出しの際、どうしてほしいのか。どういう支援を欲しているのか。(代弁者として、立場を置き換えて考える) <全体協議> ③グループ協議の結果について全体で内容を確認する。 ・次年度の活動について見通しを立てる。(ゴールまでの行程表をたてる) <グループ協議> ④今年度(あと1回)と来年度の取り組みにおいてのゴール(目指す姿[目標])と今後の進め方について考える。(見通しを持つ、イメージの明確化) ⑤次回の活動内容を確認する。 (ゴミ出し支援のゴールと今後の進め方についての見通しをもとに、次回はさらに1つ1つ掘り下げて考える)			
		5	令和4年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出し支援のしくみについて(項目を立てて考える) 	<グループ協議> ・支援のしくみについて次のような視点で考える。 ①実施地区の選定(モデル地区) ②支援者 ③支援の対象者(要支援者) ④料金 等々 <全体協議> ・グループ協議の結果について全体で確認する。(共有化) ・次年度の活動の見通しをたてる。(ゴールまでの行程表をたてる)			
田彦中学区地域づくりの会 【H24.4.14設置】	地域づくりの会会長 副会長 自治会長 自治会副会長 事務局 (13人)	1	令和3年5月9日	今後の自治会人材の確保対策	<ul style="list-style-type: none"> 現状の課題の認識 地域に求められているもの 考えられる対策等を議論し、メンバーを拡大しコーディネーター等を入れて具体的な議論をすすめる報告の確認 	コロナ禍で計画していた会議が十分にできなかった。	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーターを入れたとき費用面 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の課題を継続して行いたい 自治組織の人材発掘の仕組みづくり コミ組織の役職のあり方(多様性のある人材のあり方)

令和3年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
湊中学区地域を住みよくなる会【H23.9.30設置】	コミ役員 スポーツ推進員 民生委員 PTA役員 高齢者クラブ役員 部会員 (15人)	1	令和3年11月18日	・地域福祉推進体制整備事業について ・あいさつ運動標語の募集結果について	<ul style="list-style-type: none"> 市民会議委員の顔合わせ 湊中学区市民会議の設置及び進め方についての説明と同意 地域福祉推進体制整備事業についての説明 あいさつ運動標語の募集結果(応募総数453点)を報告、表彰選考委員会による優秀作品の選考についての説明と同意 	・「地域のモラル向上」の取り組みとして、学区内の住民をはじめ小・中学生からあいさつ運動に関する標語を募集し、優秀作品の選考を行い表彰した。 ・「高齢者対策」の取り組みとして、地域で支え合う体制を構築する「地域福祉推進体制整備事業」の設置を含めて日常生活圏(湊中学区)の中でどのような支援ができるかを検討している。		・「地域のモラル向上」の取り組みとして、あいさつ運動標語の優秀作品を学区内の公共施設等へ掲示し、また広報紙へ掲載して、あいさつ運動を推進するとともに地域のモラル向上を図る。 ・「高齢者対策」の取り組みとして、地域福祉推進体制整備事業の進め方及び地域で進められる事業について継続して検討していく。
		2	令和3年12月2日	あいさつ運動標語の優秀作品選考【表彰選考委員会】	・優秀作品の選考方法、表彰についての協議			
		3	令和3年12月21日	あいさつ運動標語の優秀作品選考【表彰選考委員会】	・応募作品から最優秀賞1点、優秀賞8点の優秀作品を選考			
		★		「地域のモラル向上」の取り組み	あいさつ運動標語の学区内の住民をはじめ小・中学生等からあいさつ運動に関する標語を募集し、小学生423点、中学生23点、一般7点の作品応募があった。小・中学生の応募作品から優秀作品を選考して、賞状と記念品を贈呈した。			
平中学区明るい地域づくりの会【H24.6.1設置】	コミ役員 コミ各部長 各自治会長・副会長 (13人) 民生委員 青少年相談員 女性学級連絡会 学校PTA役員 観光協会 (21人)	1	令和3年7月1日	本年度の事業計画の確認	<ul style="list-style-type: none"> 市政懇談会要望事項取りまとめについて まちづくりについてのアイデア、意見等についてフリートーキング形式で、意見交換 県外研修について わかめ設置作業についての理解と協力 スケッチ大会実施について 海浜鉄道イベントの協力 サイクリング協賛 	市民会議として取り組むべきテーマの絞り込みを行った。「まちづくり市民会議への参加協力の呼びかけ」と地域の活性化には何が必要なのかについて	・町の活性化を図るにはどうすればよいのかを目標にして進めているが、コロナの感染拡大もあり計画通りにいかなかった。コロナ禍であっても地元をアピールできるように、下記のような新たなイベントの企画立案をする。 例)海浜鉄道開業祭、サイクリングの協賛(2回目)、スケッチ大会、写真撮影会等 ・美乃浜学区内には古墳が相当数あるが、(29基)まずは平磯地区にある三塚古墳の景観を良くするため、市と連携して整地したい	・「高齢者向けのホットサロン」の開設(部署:安全福祉部会) ・一般市民対象の教養講座の実施(東京方面:日帰り) ・先進地域視察(小布施) ・スケッチ大会の実施 ・商工会議所主催のサイクリング協賛(2回目) ・サイクリング、ウォーキング、海鳥の観察者等の休憩所設置に向け関係機関と協議する。(観光の拠点づくり)
		2	令和3年12月15日	わかめ養殖(ロープを海に投入)	12/15県水産試験場、那珂湊漁協、採鮑組合の協力を得て種のついたロープを平磯海岸に設置した。約1か月で長さ80cmにまで成長したが、トンガの海底火山爆発の津波を受け、殆ど流出してしまった。残ったわかめについては一部市民会議メンバーに配布した。本来であれば地域の皆さんに成長したわかめを分ける計画であった。次年度はさらに改善しチャレンジする。			
		3	令和4年2月4日	市の観光振興課の担当者を招き「ひたちなかの市の観光推進と今後の計画」についての講話(延期)	【参加メンバー】 市民会議委員他地域づくりの会委員 22名			
		4	令和4年2月4日(講話後)	令和4年度の「市政懇談会要望事項」及び総会他日程について(書面会議)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の活動計画(案)の確認 令和4年度の市政懇談会の要望依頼について 			
		★		わかめ養殖作業	水産試験場、漁協等、市民会議等メンバーの協力を得て海に沈めて養殖したが、津波により流出してしまった。ただ、残ったわかめを収穫したところ、長さ80cmまで成長していたのを確認した。次年度もさらに改善してチャレンジする。			
		★		商工会議所主催によるサイクリング協賛	今回は初めての試みだったので、給水場(大会本部から水のペットボトルと地域づくりの会から飴を用意)として協賛した。参加者は県内外から300人が自転車で平磯海岸に集まり、青い海をみて写真を撮ったりして好評だった。4年度はエイドステーションとして漁協の婦人部や部会の手を借りて地元ならではの料理をふるまって「海の平磯」をアピールしていく。(エイドステーション:飲食出来る施設)			

令和3年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
阿中学区明るく住みよい地域をつくる会 【H24.4.21設置】	コミ役員 自治会員 地区ごとの代表者 (各地区2人) 小学校PTA役員 (16人)	1	令和3年4月17日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第2回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会を開催(市民会議委員・コミュニティ役員・市職員) 旧阿字ヶ浦中学校の改修工事及び今後のスケジュールについて説明を受ける 市民会議委員から質疑応答等 	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について、コミュニティの拠点となる(仮称)阿字ヶ浦地域交流センターとして活用できるよう、市民会議に取り組んだ。(前年度から継続して実施)令和4年度中の開館を目標に市民会議の内容を踏まえ市関係部署と協議し施設の改修工事を行っている。(今年度中完了予定)運営方法については現在も協議中であり、今後更に協議が必要である。	・行政との協働事業として実施することを検討する。	・(仮称)阿字ヶ浦地域交流センター開館まで、「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について」の課題を継続して市民会議を実施する。
		2	令和3年5月21日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第2回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会についての意見交換を行う 			
		3	令和3年6月30日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第3回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会を開催 施設の見学及び譲渡を希望する備品の選択 市民会議委員から質疑応答等 事業計画(案)の検討 			
		4	令和3年8月21日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第3回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会についての意見交換を行う 運営体制、運営スタッフの人選等を検討 			
		5	令和3年9月12日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 施設の開館時期及運営体制について検討 譲渡希望の備品の確認 運営スタッフ人選の状況確認 			
		6	令和3年10月25日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第4回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会を開催 市職員から協議事項について回答を受ける 地域からの要望について補足説明 施設の運営補助金の予算計上についての説明 施設の整備工事について 			
		7	令和4年11月7日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第4回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会についての意見交換を行う 貸館の条件について 施設の名称の決め方について 			
		8	令和3年12月5日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 運営スタッフの人選状況の確認 施設の名称(案)の選出 			
		9	令和4年1月30日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第5回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会に向けての要望事項等の確認 施設の貸館の規模について 			
		10	令和4年2月14日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	<ul style="list-style-type: none"> 第5回阿字ヶ浦中学校跡地利用検討部会 			